



ごみ出し、草むしりなど困り事を解決

由布市、高齢者ら支援



5月から開所する暮らしのサポートセンターのチラシと利用チケット＝由布市役所

来月10日から開始

【由布】有償ボランティア「暮らしの応援隊」が高齢者らの生活を支援するサービスが5月10日から由布市で始まる。ごみ出しなど介護保険制度ではカバーが難しい困り事を解決する。市は「住み慣れた地域で自分らしく暮らすための一助にしてください」と利用を呼び掛けている。

市役所への書類提出同行▽電球替えなど。市外や県外にいる家族からの安否確認や声掛けの依頼にも応じる。料金は1時間600円。応援隊には、養成講座を受けた30～70代の17人が登録。市は7月と11月に講座を開き、年度内にさらに20人の追加登録を目指す。運営は大分市のコンサル業「ワーキングルーム」に委託する。由布市庄内町東長宝のスマイル広場内に事務所となる「暮らしのサポ

2021年4月25日付 大分合同新聞 11面

由布市で新たな高齢者支援サービスが始まります。

「トセンター」を構える。常駐職員が利用に関する相談に応じる。応援隊との連絡調整も担う。市高齢者支援課によると、大分市や九重町が同様のサービスを導入している。同課は「独居や高齢者だけの世帯も多い。かゆいところに手が届き、生活が楽しくなるようなサービスにしていきたい」と話す。問い合わせは暮らしのサポートセンター(☎090・4075・1390)。

①どのようなサービスですか。() に当てはまる言葉を書きましょう。

有償ボランティア「暮らしの応援隊」が高齢者らの生活を支援するサービスで、ごみ出しなど(介護保険) 制度ではカバーが難しい困り事を解決する。

②支援する内容は？

ごみ出し、自宅周辺の草むしり、市役所への書類提出同行、電球替えなど。市外や県外にいる家族からの安否確認や声掛けの依頼にも応じる。

③由布市高齢者支援課は「独居や高齢者だけの世帯も多い。かゆいところに手が届き、生活が楽しくなるようなサービスにしていきたい」と話しています。②の他に、どのようなサービスを提供すればいいと思いますか。考えてみましょう。